

平成26年度人材育成支援無償「人材育成奨学計画」
E/N署名時の大使のスピーチ

2014年8月22日、タシケント市

イクラモフ副首相閣下

本日、人材育成支援無償「人材育成奨学計画」(総額2.11億円、約205万米ドル)の交換文書に署名する運びとなったことを、お喜び申し上げます。

ウズベキスタンにおける「人材育成奨学計画」は、「社会経済開発の政策立案に携わる優秀な若手行政官等の育成」及び「二国間関係の強化」を目的として、1999年に開始されました。我が国は本件プロジェクトにおいて、合計250名の留学生を日本の大学院に送り出してきました。

本年8月下旬には第15期生が日本に出発する予定です。現在、留学に向けた活発な事前研修が行われていると伺っています。

また、まもなく第16期生の募集も始まる見通しです。ウズベキスタン政府におかれましては、本プロジェクトが最大限有意義なものとなるよう、特に対象者の推薦や帰国後に当国で活躍するためのフォローアップにつき、引き続きご協力をお願いします。

当プロジェクトの修了生は、既にウズベキスタンの様々な分野で活躍していると伺っています。また、カリモフ大統領をはじめ、ウズベク政府の大臣なども、しばしばこの事業の意義について言及され、本事業がウズベキスタンにおいて、大きな意味を有していることを実感しています。

本件プロジェクトが第1にウズベキスタンの社会・経済の発展に寄与すること、第2に、日・ウズベキスタンの友好関係を一層深め、両国国民の間のかけ橋となることを祈念して、私の挨拶いたします。

駐ウズベキスタン共和国日本国特命全権大使
加藤文彦